

令和元年9月4日（水）

防げる事故は防ごう

おはようございます。

先日の始業式の後に、自然災害である「大地震」を想定しての避難訓練を行いました。私たちが生きていく上では、地震や大雨、火山の噴火といった自然災害以外にも、生命に関わる危険性がある災害があります。

その代表的な災害が「交通事故」です。

まず、次の新聞記事を読みます。

30日午後、埼玉県川口市の交差点で左折したトラックに自転車が巻き込まれ、15歳の女子高校生が死亡しました。

30日午後4時半頃、埼玉県川口市の交差点で左折したトラックに自転車が巻き込まれました。自転車に乗っていたのは埼玉県内の公立高校に通う高校1年生の三浦公美さん（15）で、病院に運ばれましたが、頭を強く打つなどして死亡しました。

警察はトラックを運転していた32歳の男性容疑者を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕しました。容疑者は容疑を認めているということで、警察は容疑を過失運転致死に切り替え、容疑者が十分に確認せず交差点を左折したことが事故の原因と見て、調べを進めています。

亡くなった三浦さんは、学校からの帰宅途中でした。

この記事聞いて、皆さんは何を思ったでしょうか？

「他人事」でしょうか？

先日、伊藤先生から連絡したように、現在、鎌塚歩道橋が工事中であるため、誘導員がいる時間帯に限り、セブンの交差点の利用を認めています。

しかし、大変危険な交差点であることには変わりはありません。

利用している人はよく分かると思いますが、あの交差点は、関越自動車道方面から東北自動車道方面に向かう、いわゆる「裏道」で、大型トラックが国道から行田方面に左折します。

過去には、下校中の本校の生徒が左折トラックに巻き込まれ、大きなケガを負った事故も発生しています。

その後、車と歩行者が同時に利用できない車歩分離交差点にはなっていますが、「大丈夫」とは絶対に言えません。

その他にも、

「新宿方面に向かう手押し式信号を、赤なのに走って渡る生徒」

「17号西友の交差点を斜め横断する生徒」

など、自ら危険を誘発するような生徒の連絡を地域の方から寄せられています。

交通事故は防がなければいけない事故です。

まずは、交通ルールを守り、自分が採れる安全対策を必ず採って下さい。

朝「行ってきます」と自宅を出て、夕方「ただいま」と帰って来ることを家族は願っています。

今日は、「防げる事故は防ごう」という話をしました。

今学期も、自分の生命は自分で守ることを常に考え、事故に巻き込まれることのないよう生活しましょう。

以上です。